

11月全校集会

先月の全校集会では皆さんの前で話をできませんでした。眼の手術をして学校を休んでいたためです。この時改めて、大丈夫だろうという根拠のない勝手な過信は禁物だ、ということを感じました。私の場合、もう一日二日通院が遅れていたら手遅れになっていたと医師に言われました。今日はまず最初に、先生方も含め、皆さんにこのことを伝えたいと思います。皆さんから家族にも伝えてあげてください。

さて、皆さんは、「ガファム」という言葉を聞いたことがありますか。聞いたことのある人は手を挙げてください。GAFAMと書いて「ガファム」と読みます。これはグーグル・アップル・フェイスブック・アマゾン・マイクロソフトの頭文字を並べた造語です。

今年の世界企業ランキングで、1位はマイクロソフト、2位はアップル、3位はアマゾンと、最上位にIT企業「ガファム」が並んでいます。これは、IT時代と超情報化社会の到来を象徴しています。平成元年の世界企業ランキング上位20社のうち、日本企業はなんと14社を占めていましたが、今年は0です。この凋落ぶりは、日本企業の経営者が皆50代～60代で、「守りの経営」に終始し、チャレンジしなかったことが主な原因であると言われていています。「ガファム」の経営者は皆20代で起業しています。

ところで、世界に誇る日本の大企業と言えば、皆さんはどの企業を思い浮かべますか。今年の世界企業ランキングで最上位に位置する日本企業はトヨタです。トヨタが世界の大企業に躍り出た背景には、トヨタ独自の経営方針が隠されていると言われていています。それが「カイゼン」です。「カイゼン」は、創業者である豊田喜一郎氏以来、トヨタに脈々と流れる哲学であり、モノづくりの手法であると言われていています。それは、「課題を隠すことなく洗い出す」、「クレーム・品質不良の実情を数字で把握し、ゼロにする」、「標準をつくり、そこをスタートラインにカイゼンし、何事にも挑戦し続ける」、「物事や仕事に5回のなぜを發し、真因をつかみながら誠実に問題解決に取り組む」、「チームワークを大切にする」など、10項目にわたります。

ちなみに、「カイゼン」と聞いて、皆さんはどの英単語を思い浮かべますか。「improvement」？それは「改良」という意味です。「カイゼン」は「誤りや欠点を是正し、より良い状態にする」という意味で、こうした概念を表す英単語はないため、「KAIZEN」は「SUSHI」「JUDO」などと並んで世界語になっています。

日本の製造業の強さの源泉とも言われるこの「カイゼン」は、トヨタの哲学というより、日本社会に根づく哲学であるようにも思います。視点を変えれば、「課題を洗い出す」「標準をつくり、そこをスタートラインにカイゼンし、何事にも挑戦し続ける」「5回のなぜを發し、解決に取り組む」、これらは学習や部活動などにおいて、皆さんに求められる大事な姿勢ではないでしょうか。

私は常々、同じことの繰り返し、それは後退であると考えています。「あすはひのきになろ」、「あすなろ」という言葉ではありませんが、昨日よりも今日が、今日よりも明日が、さまざまな意味で少しでも成長した自分であり得るよう、日々「カイゼン」を惜しまないでほしいと思います。

今日は、皆さんに「大丈夫だろうという根拠のない勝手な過信は禁物である」「カイゼン」という言葉を伝えて講話とします。

今後の皆さんの頑張りを期待しています。